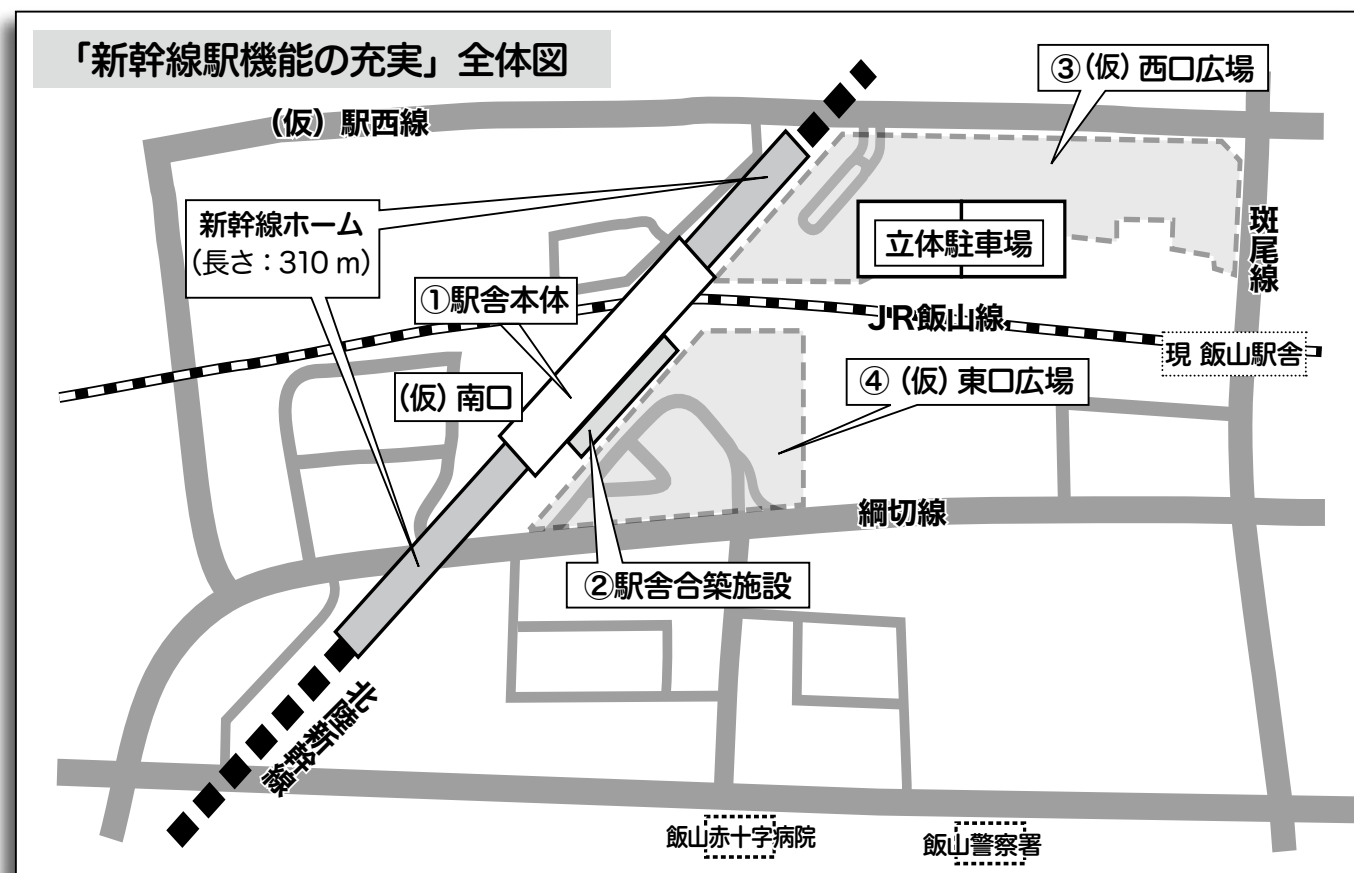
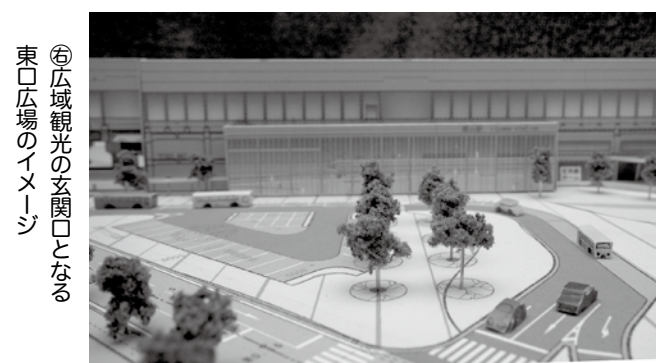




■総事業費は 85 億 7000 万円を想定

総事業費は、現在 85 億 7000 万円を想定していますが、これは平成 17 年度から 20 年度までの実施済みの事業費と平成 21 年度から 28 年度までの概算事業費の合計額です。

このうち、区画整理に約 60 億円、在来線駅移設（一次統合分）に約 4 億円、駅舎合築施設・駅前広場・駐車場の整備に約 13 億 2000 万円を予定しています。



来月号では、産業振興、移住定住による人口増を図るための「駅前・駅周辺の土地利用計画、新産業立地の基盤整備」、魅力的な観光圏を形成するための「回遊性のあるまちづくり、観光施策・機能の充実」の内容をお伝えします。

「新幹線アクションプラン」に関するお問い合わせ
企画財政課 企画調整係 ☎ 62 - 3111 内線 391

④（仮）東口広場

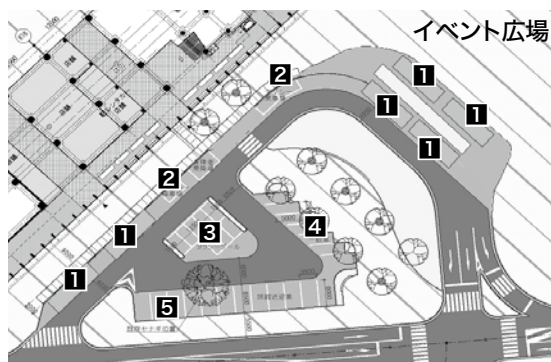
上信越高原国立公園の高速交通網の拠点として整備する東口広場。広域観光の玄関口となるため、地域の第一印象に大きく影響を与える空間を整備します。

●整備方針

- ・交通広場はバス・タクシーなどの交通結節点機能を考慮した整備を行います
- ・観光客や市民が交流できるイベント広場を整備します
- ・豊かな自然景観を象徴する美しい山並みとの調和を図ります。

●東口広場の機能、施設等

- ①交通ロータリー ②バスバース（6台・**1**） ③タクシーバース（3台・**2**） ④タクシープール（8台・**3**）
- ⑤一般車駐車スペース（6台・**4**） ⑥旅館送迎車スペース（12台・**5**） ⑦シェルター、駐輪場（240～270台）、イベント広場



※左図中の角数字は上記「東口の機能・施設等」に対応しています

新幹線プロジェクト 具体的な整備方針

新幹線駅開業に向け、飯山市では区画整理事業や駅前整備、回遊性のあるまちづくりを行っていきます。区画整理事業等を含む総事業費は約 85 億 7000 万円の予定です。今回はアクションプラン案の「新幹線駅機能の充実」に関する整備の概要をお知らせします。

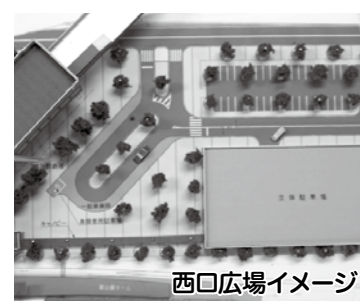
① 新幹線駅舎本体（鉄道・運輸機構で整備）

新幹線新駅の規模は、延長 120 m の駅舎にプラットホームを入れると 310 m の巨大な駅になります。また、在来線飯山駅を移設します。

構造は3階建・高さ約 25 m、2階に新幹線と在来線の改札口ができます。在来線ホームは1階、新幹線ホームは3階になり、1階から2階への移動手段は階段とエレベーターです。3階新幹線ホームへの移動手段としては、階段・エスカレーターおよびエレベーターがあり、1階の在来線ホームへの移動手段は、階段とエレベーターです。

③（仮）西口広場

西口広場は駐車場・ロータリーなどを整備し市街地西部方面からの利便性向上、東口広場の渋滞軽減を図り、主に鉄道利用者が利用する広場として整備します。



●整備方針

- ・駅まで送迎してもらい列車に乗る利用客、自家用車で来て駐車し列車に乗る通勤・通学等の利用客に対応したロータリー・駐車場を確保します
- ・立体駐車場は可能な限り駅舎の近くに整備します
- ・立体駐車場は拡張可能な構造とし、段階的に整備をしていきます
- ・降雪を配慮した施設整備を行います

●西口広場の機能、施設等

- ①ロータリー
- ②立体駐車場（一次整備分・150 台程度）
- ③立体駐車場（二次整備分・150 台程度）
- ④平面駐車場（200 台程度） ⑤駐輪場（90～120 台）・トイレ（立体駐車場内）・シェルター（バス、タクシーの乗降客を雨雪などから守る覆い）・融雪施設

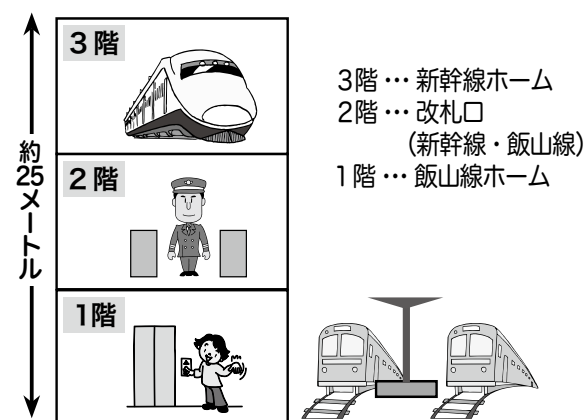
■整備の方向性

1. 他の新幹線駅にないものを目指す
2. 駅機能の利便性と周辺土地の有効的な利用を図る
3. 雪に強く、ランニングコストがかからない施設整備を行う

■整備の基本方針

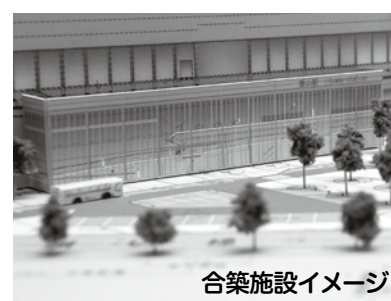
コンセプト「豊かな自然」

新幹線駅舎機能イメージ



② 駅舎合築施設

JR 飯山線飯山駅を統合するほか、機能的で誰もが利用しやすい駅とするため、駅舎本体に次の機能を備えた施設を合築整備します。



●整備方針

- ・誰もが利用しやすいバリアフリー、ユニバーサルデザインの駅舎とします
- ・コンパクトでも、機能的で利便性の高い駅舎とします
- ・在来線飯山駅を新幹線新駅に移転統合します
- ・雪に配慮した機能整備をします
- ・周辺観光地への玄関口としての機能を強化し、近隣駅に比べ優位性を確保した駅とします
- ・地域の風景を活かす駅舎空間の創造をします

●駅舎合築施設の機能、施設等

- ①JR 飯山線飯山駅の新幹線駅への移転統合
- ②改札のある駅舎2階への移動手段となるエスカレーター ③西口広場からの連絡施設として階段・エレベーター ④観光案内所の設置 ⑤休憩・待合室 ⑥トイレ（1階） ⑦コインロッカー ⑧物産スペース、喫茶室、自動販売機、ATMのスペースの確保